

鳥取城大手門にあたる「中ノ御門表門」が、この春ついに完成を迎えます。大手門創建400周年を迎える令和3年、10年に及ぶ発掘調査の成果とともに、工匠たちによる伝統技術を駆使することで、鳥取城全体の長を最もよく示す江戸時代末期の姿で現代によみがえります。屋根には外様大名として唯一使用が許された徳川家の家紋「葵紋瓦」が軒を連ね、全国12番目の石高を誇った鳥取藩の栄華を未来に伝えます。



大手門竣工記念式典

【日時】 令和3年3月13日(土) 9:30~10:15

※9時より式典受付開始

【会場】 鳥取城跡「擬宝珠橋」橋上

式典内容

一般参加：式典観覧・くぐり初めに参加可能

- ・市長挨拶
- ・教育長経過報告
- ・来賓祝辞 (代表1名)
- ・感謝状贈呈 (代表2社)
- ・テープカット (代表5名)
- ・大手門くぐり初め (開門号令、時代行列)

※コロナ対策として、来賓人数を最小とする

※感染状況によっては、規模を縮小して実施

【備考】 10:15より、久松公園にて鳥取三十二万石お城まつりを開催(担当：観光ジオパーク推進課)

式典会場図(予定)

※報道用車両は、久松小学校駐車場(法務局側)に駐車ください。

※式典受付は9時より行います。社名をお伝えいただき、報道エリアへ移動下さい。

※式典中は、擬宝珠橋前の市道を車両通行止めとします。(9時~10時45分)

